

# CPResQ



## シーピーレスキュー

胸骨圧迫の質を高める  
リアルタイムフィードバック機器

JRC<sup>\*1</sup>蘇生ガイドライン2015<sup>\*2</sup>から、心肺蘇生中の  
胸骨圧迫がさらに重要視されています。

より質の高い胸骨圧迫をリアルタイムにサポートする為、  
CPResQ (シーピーレスキュー) は開発されました。

※1 JRC: 日本蘇生協議会 (Japan Resuscitation Council)

※2 JRC蘇生ガイドライン2015: 国際蘇生連絡委員会(ILCOR)による2015  
Consensus on Science with Treatment Recommendations  
(CoSTR)に基づいて作成した救急蘇生のためのガイドライン



### Point 1

#### 胸骨圧迫の適切な強さ・タイミングをサポート

- 胸骨圧迫のテンポ、押し戻しの深さをリアルタイムにLEDインジケータで表示
- 音声ガイダンスにより適切な胸骨圧迫をアドバイス  
圧迫中断時間も音声ガイダンスが行われることで、  
絶え間ない胸骨圧迫をサポート



### Point 2

#### 最大記録時間400時間のデータ保存が可能

- 各種動作のイベント記録、計測データ、胸骨圧迫深さ・テンポ 他
- 1件あたり2時間の記録を200件データ保存可能

### Point 3

#### 同梱ソフト「View-CPResQ」でCPRの質を評価

- PCを使って胸骨圧迫の質を確認可能
- CPRの質を上げるための3つのポイント
  1. 胸を約5cmの深さで圧迫し、6cmを超えないようにする。
  2. 100~120回/分のテンポで胸骨圧迫を行う。
  3. 圧迫の中断を最小限にする。

# 製品仕様

シーピーレスキュー CPR-101	
モデル番号	CPR-101
標準セット付属品	専用ポーチ、USBケーブル
基本動作	電源スイッチを押し、モード切替スイッチでCPRサポートモード・マニュアルモードを選択。 本品に指示された位置を参考に患者の胸部に本品を置き、その上に手のひらを置く。 テンポ音およびランプの点滅にあわせ、胸骨圧迫を行う。 (マニュアルモードの場合、テンポ音は発生しません。) 音声ガイド、インジケータを参考にしながら胸骨圧迫を続ける。 終了後は電源スイッチを切り、次の使用に備えて電池交換、清掃をする。
環境要件	
寸法	150×35×60mm (高さ×奥行×幅)
重量	152g (電池含まず)
電源	単4アルカリ乾電池 2本 (推奨電池 FUJITSU アルカリ乾電池プレミアムタイプ)
固形物体／液体の侵入に対する保護	IP55
動作温度	0～40℃
保管温度	0～50℃
湿度	10～95% (ただし結露無きこと)
気圧	570～1030hPa
耐落下	1.5m
データ/イベントの保存及び管理	
保存内容	各種動作イベント記録 計測データ 胸骨圧迫深度・テンポ 他
保存時間	1件最大2時間×200件 (電池残量、動作条件により変動)
データ通信	USBケーブル
データ保存方法	内蔵メモリ
耐用／保証期間	
耐用期間	製造から7年 (自己認証(自社データ)による。指定の保守点検を実施した場合に限る。)
保証期間	販売後1年

## 【ご注意】

- ・本製品は、日本ライフライン株式会社が主催または共催する講習を受講していない方は使用できません。
- ・8歳未満、または25kg未満の小児には使用禁止。
- ※本製品は専用ポーチに入れて保管してください。

日本ライフライン株式会社  
AEDコールセンター



0120-001-332

製品ホームページ [www.aed-rescue.com](http://www.aed-rescue.com)



販売名：シーピーレスキュー  
一般的名称：手動式心臓ポンプ  
医療機器承認番号：30100BZX00135000

製造販売業者

日本ライフライン株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番20号

AED事業推進部 TEL. 03-6711-5268

<http://www.jll.co.jp>

東証一部上場(証券コード:7575)

2020-01-odp-01-s01013